

顧問 会木 勲吉

会員 岩永 勝一

監査 紅木 亮次郎

二 東京工廠の最近の状況報告 (川村)

三 社会大衆党中央大会に就いて

四 旅行團に就いて

議事

一 本年度大會を廃止する件

二 工廠の作業等を依り当分延期すること

三 諸勢力依つて日本会社を襲撃する件

員会を開催すること

三 地下鐵工對策の件

四 軍價値不周題に關しては言論を取つて

あるが急激の傾向は從業員の生活など

安を與へるとして將來に対する保障を

と云ふ。(川村主事一位)

五 常備者待遇改善を期する件

六 常備者の待遇を期しては屢々要求されて

ゐるが尚実現に向つて運動すること

四 國防獻金問題に關する件

「土官には反対するものはないが從前頗る意志を尊重せずして行ふことは不對である。今後は充分注意されらやう交渉すること。」  
「品物に依つて市場より裏引き取つておる物があるので儀底的につ繕る様工廠に交付すること。」

方二十三回執行委員会

日時 四月二日午後八時

場所 本部 川村屋本店周囲口長宗尾崎松村六山

岡本古谷山中筋本接并三分一西田熊

崎佐庄

報告 一 航空會議執行委員会報告 (川村)

二 鳴野町方面に指定医院設置の件

三 某医師より指定医院の希望があるが医

義使用するも井上君の責任を以つて経

営すること

四 メードー丸開する件

(確定へ與玉至急報告し会費を納入する

人の出資者に対する相当の利子を拂つて全部整理し從来通り向上会原賣部の名

題であつて本年度の國際労働調査會に於て

き重大な問題となると思ふ。航空會議に於てもその態度決定中である)

二 地下鐵工局次長主導レット成東朝日報報告 (川村)

三 大被支部状勢報告 (川村)

四 被服支廠は最近压迫甚だしきので川

村主事から廠長を訪ねて總談諒等を求

めた。支部は返つて組合員が拡大した

四 在廠労働主体メードー協議会報告承認の

件 (川村)

五 陸軍労働組合議金情報報々告(川村)

六 造兵廠は於て約一千名期限付職工が普

通工に編入された。

七 東京工廠の小倉駅は昭和九年度中に

大部分終了する。

八 当協議会は向上会として解消しても

異議なしと申合せた。

九 大阪工廠春季慰安會場所を周する工廠

訪問報告 (川村)

一 本部の存續及整理に關する件

(都市計畫に依る今後の移転を機会に個

議事

二 本部の存續及整理に關する件

(都市計畫に依る今後の移転を機会に個